

今この瞬間から

令和2年4月に公立みつぎ総合病院(地域密着型)特別養護老人ホーム「ふれあい」所長を拝命いたしました。

当施設は、平成12年4月、広島県から公立みつぎ総合病院が移管を受けました。平成17年3月には、全室個室の新型ユニット棟を増築しました。現在は従来型80名(1人部屋8室・2人部屋2室・3人部屋4室・4人部屋14室)・地域密着型ユニット20名(1人部屋20室)で運営しています。

毎朝、警備員さんから「変わりありません」と報告を受け、施設内をウロンドして利用者さまの顔を見て挨拶を交わし、夜勤職員に利用者さまの様子を聞き、何事もなく毎日が過ぎていく日常がこのうえない喜びです。

3年前に異動してきた年には、御調中高合同体育大会を見学した帰りの車中で、「来年は尾道みなと祭に行きたいね」と利用者さまと話をしました。令和2年3月には、しまなみ球場にウエスタンリーグのカープの試合があるということを広報おのみちで知り、カープファンの利用者さまと観戦に行く計画を立てました。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行により、計画は中止となりました。それ以降は、何もできていない状況にあります。そればかりか、令和2年2月末から、面会制限をしており、利用者さまとご家族の皆さまが直接会うことも出来ていません。私の母(78歳)は、愛知県で一人暮らしをしています。この状況で会いに行くことは出来ません。会いたいと思うより、元気にやっている姿を見せたいという気持ちが募ります。そんな思いを抱えながら、当施設においては現在までに6回ほど、ドア越しの面会を実施してまいりました。いつも感じることは、家族と会われた時の利用者さまの普段とは違う表情です。その笑顔を見ることで、職員も元気がでます。

さて、ウィズコロナ。利用者さま(接種同意者)への新型コロナワクチンの接種は終了しております。しかし、接種後、感染をどの程度予防できるかははっきりと分かっておりません。ましてや、集団免疫の効果(確立)が得られるには至っておらず、予断を許さない状況に変わりはありません。現在は引き続き、職員一同、利用者さまの安心・安全を第一に考え、これまで通り感染拡大防止に努め、明るく潤いのある生活が営まれる施設づくりを行ってまいりたいと考えております。

そして、アフターコロナ。まだ存在しない未来を創っていくために、想うだけでなく職員間でやりたいことを声に出し、社会の変化に対応しながら、今この瞬間から一歩を踏み出して活きたいと考えております。



公立みつぎ総合病院(地域密着型)
特別養護老人ホーム「ふれあい」

所 長
石 橋 久 英

◆多くの女性がかかるのにあまり知られていない「骨盤臓器脱」

骨盤臓器脱は女性特有の疾患で、子宮・膀胱・直腸などの骨盤内臓器が膣から脱出するものです。海外では成人女性の3分の1、出産経験者の44%がかかるという報告もあり決して珍しい病気ではありません。しかし、あまり知られていない病気です。それはこの病気であることに気づかないで放置している人が多いからです。

症状として、図1に示すような症状のほかにしゃがんだときや重たいものを持ったとき、長時間歩いたときなどに股の下に何か下がってくる不快な感覚があります。症状が進むと、おしっこが出にくくなる「排尿困難」や「頻尿」「尿失禁」などの尿トラブルの原因にもなります。

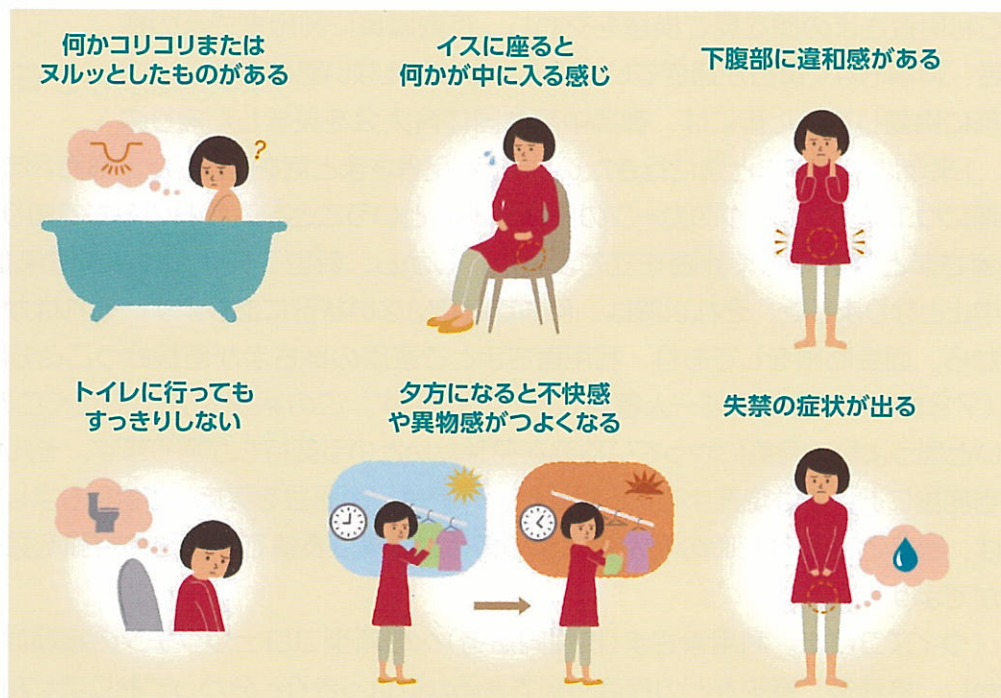


図1 骨盤臓器脱の症状

骨盤臓器脱の原因は、子宮・膀胱・直腸などの骨盤内臓器を支えている「骨盤底筋」が弱くなるためで、出産や加齢、閉経などで緩んだ筋肉が臓器の重さに耐えられなくなって膣の中に下がってくることによります。また、子宮摘出術後にも高頻度に見られます。

No.51

骨盤臓器脱の新しい手術法 LSC (腹腔鏡下仙骨膿固定術)

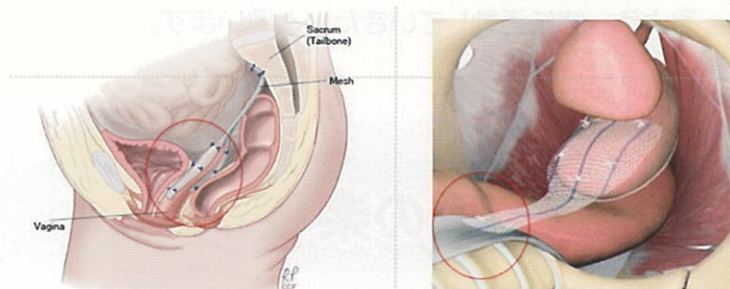


泌尿器科部長
上田 光孝

◆骨盤臓器脱の新しい手術法(LSC)

骨盤臓器脱の治療は手術療法が基本となります。これまでは膣壁縫縮術やメッシュを使ったTVM手術が行われてきましたが、再発率の高さや術後の痛み、性交痛などが問題でした。LSCはフランスで開発された手術法で日本では2016年から保険適応となっています。

腹部に1cm程度の孔を数か所開けて腹腔鏡を挿入し、メッシュ素材で膣を包み込んで補強して仙骨に固定して臓器の脱出を解消します。手術は全身麻酔で3～4時間かかります。腹腔鏡下で行うことによって出血が少なく体への負担が少ない治療法といえます。(図2、図3)



(出展：Walters MD, et al. Obstet Gynecol.2013; 121: 354-74. をもとに一部加筆)

図2 メッシュで膀胱や直腸壁を支えて仙骨に引き上げるように固定します。



図3 実際の手術

当院ではこれまでに4例の手術を行いました。入院期間は約1週間です。
骨盤臓器脱で悩んでおられる方は泌尿器科外来へご相談ください。

みつぎの苑
一般棟

今年も作りました！！

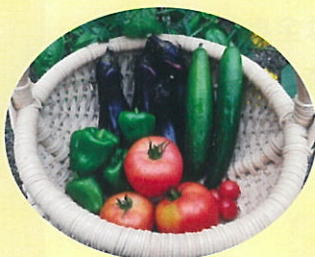
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行事の中止や面会制限が続いていますが、施設の中で利用者さまの生きがいや楽しみとなっている一つに、中庭での野菜作りがあります。

今年も、トマトやきゅうり、なす、ピーマンなど野菜の苗を利用者さまと一緒に植え、「トマトが大きくなったね」など野菜の成長を観察

することも楽しみとなりました。

立派になった野菜は、調理実習の食材として使用され利用者さまのおなかを満たしています。

今後も、施設内での生活にやりがいを持て、楽しみが見いだせるよう一緒に活動していきたいと思います。



グループ
ホーム
「かえで」

夏の楽しみ

グループホーム「かえで」では中庭で草花や季節に応じた野菜を育てています。畑を耕すところから始め、種植えや毎日の水やり等入居者さまと共に行っています。今年もオクラ、きゅうり、なす、スイカなどたくさんの夏野菜を収穫できました。収穫した野菜を使い毎日入居者さまと献立を考え、料理をしています。「採れたての野菜はおいしいね」と、とても好評です。コロナ禍で外出の機会が減り

できることも限られましたが、秋には毎年恒例の芋ほりを計画しています。今年も残念ながら地域の方の参加は難しいですが、コロナが終息した際には交流を楽しみにしています。今後も入居者さまと笑顔あふれる家庭的な雰囲気の中で穏やかに過ごしてまいります。



有床診療所

ホッと 一息 音楽療法

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための自粛生活が1年以上続き診療所に入院されている方はご家族との面会や外出・外泊ができずストレスを抱えながら入院生活を送られています。これまでは風船バレーボール大会や季節ごとの行事を病棟や施設内で開催していましたが現在はすべて中止となり、楽しみも少ない状況となっています。



リクエストボックス

このような状況の中で患者さまの唯一の楽しみとなっているのが毎週水曜日の音楽療法です。音楽療法士によるピアノやフルート、バイオリンの生演奏による懐メロや民謡など、声を出して歌うことはできませんが楽しまれています。30分弱の短い時間ですがみなさんリラックスされ笑顔がみられます。最近はリクエストボックスを作成し、患者さまの希望も取り入れた活動も行っています。

まだまだ自粛生活は続くと思われますが、患者さまに喜んでいただけるような取り組みを考えていきたいと思っています。

病院ボランティア募集

あなたの“ボランティアの心”を生かしませんか？

公立みつぎ総合病院では病院ボランティアを募集しています。
主な活動は次の内容です。



絵手紙

写真展示

その他



いつでも、1日でも、
1回でも、何でも
興味のある方は
ぜひお問い合わせ
ください。

【問い合わせ先】 公立みつぎ総合病院 代表 TEL:0848-76-1111 (看護部長室まで)

緩和ケア認定看護師の資格を取得しました

2019年7月に緩和ケア認定看護師の資格を取得しました。私が現在勤務している職場は緩和ケア病棟です。緩和ケア病棟では、患者さまの療養支援の他、患者さまやご家族の皆さまのお話を伺ったり、緩和ケア外来に同席したり、また緩和ケアチームの一員として、医師、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、管理栄養士、薬剤師、社会福祉士など多職種で、病院内を回診しております。

緩和ケア病棟と聞いて思い浮かぶのは「がんになって最期の時になったらお世話になる場所」といったイメージが強いのではないのでしょうか。しかし緩和ケア病棟の役割は決して最期を迎える場所だけではなく、例えば在宅での療養生活が少し疲れたな、痛みなどの症状が強くなったからコントロールしてまた家に帰りたいな、と思われた時に利用していただく場所でもあります。

また、現在の緩和ケアには幅広い意味が含まれており、「がんになったかも」と不安を感じる中で最初に病院を受診される時から緩和ケアは始まっています。受診される患者さま、ご家族の皆さまの不安な気持ちを少しでも和らげることが、緩和ケアの関わりの第一歩ではないかと感じています。

資格を取得してまだ2年目ですが、皆さまの人生に携わることで、少しでも手助けになればと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。



看護師
西 元美

尾道市民のみなさまへ

レディース検診のお知らせ

(乳がん・子宮頸がん検診)

- 日 時：令和3年12月15日(水) 受付：9：00～11：00
- 場 所：御調保健福祉センター
- 申込期限：11月4日(木)

「健康おのみち21」の
“おのみち”です！



検診項目	対象者 ※令和4.3.31時点の年齢	自己負担金	
		69歳以下	70歳以上
乳がん (マンモグラフィ)	40歳以上の 偶数年齢の女性	500円	400円
子宮頸がん	20歳以上の 偶数年齢の女性		300円

令和3年度から尾道市の集団健診の申し込み方法が、Webと電話に変わりました。

ご注意！
申込用紙は
ありません

- ①Web予約 「尾道市けんしん予約ナビ」へアクセス
 ●スマートフォンの場合 … QRコードを読み込む
 ●パソコンの場合 … 「尾道市けんしん予約ナビ」で検索



- ②集団健診専用コールセンターへ電話(フリーダイヤル:無料)

フリーダイヤル 0120-489-203

受付時間: 9:00～17:00
(土日祝日除く)

★託児あり

《希望者は、健診予約前に御調保健福祉センター(0848-76-2235)へ電話で申し込んでください。》

職員紹介

公立みつぎ総合病院に理学療法士として入職し2年目となりました。現在は回復期リハビリテーション病棟で勤務しています。



理学療法士
倉増 亮也

仕事を行うにあたり、患者さま、ご家族の思いをお伺いし、自ら考えてリハビリテーションを展開していくことを大切にしています。様々な背景を抱える患者さまと関わる中で「どうしたら良くなれるだろう」と疑問ばかりの毎日ですが、先輩方や病棟スタッフの皆さまから助言をいただき日々業務を行っています。

まだまだ未熟ではありますが、患者さま、ご家族の思いに応えられるよう経験、知識を積み重ね、日々学ぶことを怠らず成長していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

公立みつぎ総合病院に入職して今年で2年目を迎えました。現在、みつぎの苑やすらぎ棟にて勤務をしています。初めは分からないことも多くありましたが、様々な利用者さまとの関わりや先輩方からのご指導を通して業務に励むことができています。



介護福祉士
新田 峻也

利用者さまとの関わりの中で一人一人に合った介助をしていくことの難しさや、介助をしたときの利用者さまの笑顔など様々なことを学ばせていただいています。

まだまだ知識等が浅く至らない点が多々ありますが、利用者さまにより良く過ごしていただけるように、またご家族に安心していただけるように努力していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

公立みつぎ総合病院に入職して2年目になります。患者さまが服用されている薬を把握し、お話を伺う中で患者さまの薬に対する悩み・不安に対応できるよう取り組んでいます。



薬剤師
黒瀬 有理

業務の中で知識・経験不足を痛感することが多くありますが、先輩方の指導のもと正確な情報をお伝えできるよう努めています。

昨年はコロナ禍での入職となり公私ともに悩むこともありました。多くの方に支えられていることを実感した1年でした。今後は退院後も含め安心して薬を服用していただけるよう患者さま・ご家族の方をサポートしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

公立みつぎ総合病院に入職して2年目を迎えました。



看護師
豊田 真子

1年目は脳外科、外科病棟で勤務していました。初めは、覚えることも多く病棟に慣れることで必死でしたが、先輩方が声をかけてくださり様々な経験をさせていただき、楽しく勤務することができています。

現在、新型コロナウイルスの影響により、面会が制限される中で患者さま、ご家族さまも不安を感じておられます。少しでも不安を解消できるよう、スタッフ間の連携を取り、患者さまに寄り添う看護を行っていききたいと思っています。

医師異動のお知らせ

新任医師



精神科部長
すぎ 杉

とし ひで
利 秀

この度、赴任した杉と申します。
コロナ禍や災害、格差など、
日々の暮らしの中で私たちの心は弾力を失い、
傷つき疲れきっています。そんな地域の皆さまの心に少しでも寄り添い、援助できるよう努めてまいりたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。



整形外科医長
おの で え ま
斧 出 絵 麻

この度、公立みつぎ総合病院
に赴任してまいりました斧出絵
麻と申します。
皆さまのお役に立てますよう精一杯努めて
まいります。
よろしくお願いいたします。

御調地区健康づくり活動パネル展

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も健康福祉展は中止となりました。それに代わるものとして、健康づくり・保健福祉活動の情報発信の場としてパネル展示を行います。

- 期 間：10月26日(火)～11月4日(木)※土日祝日を除く
8:30～17:15
- 場 所：御調保健福祉センター1階
- 展示内容：保健福祉センター内の各事業所の活動、フレイル予防、防災グッズ、各地区サロン活動、シルバーリハビリ体操など

【問い合わせ先】御調保健福祉センター TEL: 0848-76-2235



昨年の様子

ご意見、ご感想をお聞かせください

TEL 0848-77-0955 FAX 0848-77-0956
E-mail: tiiki@mitsugibyoin.com
ホームページは「みつぎ病院」で検索

患者さまならびに地域の皆さまと共に作成したいと考えて
おります。ご要望をお待ちしております。

発行：尾道市立総合医療センター
公立みつぎ総合病院 広報誌編集委員会